

事業所名		重心型児童発達支援ひなたぼっこ2		支援プログラム		作成日		R7	年	3月	31日
法人（事業所）理念		利用者とその家族が生活する中で、利用者の成長に合わせ心の通った療育を行う									
支援方針		主に医療的ケアが必要で心身の発達に心配のあるお子さんに対して、通所事業を通してお子さんが持っている力を十分に引き出し、療育・生活支援及び相談支援の充実を図る									
営業時間		9時00分から17時00分まで			送迎実施の有無		ありなし				
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理・記録を行う。また医療機関との連絡調整及び協力医療機関を通じて健康保持のための適切な支援を行う。 ・利用者の状況に応じて適切な技術をもって食事・整容・更衣・入浴・排泄等生活全般にわたる援助を行う。									
	運動・感覚	看護師や介護職による機能訓練（リハビリ）をはじめ、体操や感覚・刺激マッサージなど本人の持つ身体機能維持を目的に機能低下を予防する。									
	認知・行動	色（赤、青、黄）の判別など、障がいの特性で困難と感じている部分について、声をかけながら表情や視線での表現を聞き取りながら行う。									
	言語 コミュニケーション	家庭と共通したコミュニケーション支援を提供する。									
	人間関係 社会性	他の利用者や多職種と関わり家族以外の人との関係を構築する。利用者に合わせた創作活動をしたり、利用者が他利用者と顔を合わせた時にスタッフが一緒に声をかけ仲間意識を養う。									
家族支援		困りごとの傾聴やきょうだいの行事参加時の利用など			移行支援		通園や学校入学時には、療育利用状況等情報提供を行っている。				
地域支援・地域連携		秋祭りへの参加（年1回） 相談支援事業所や支援学校との情報共有			職員の質の向上		月1回の社内勉強会に加え、外部のスキルアップ研修への参加を促し職員個人の質の向上に取り組んでいる。				
主な行事等		毎月の行事を決めている。（季節の花見・誕生会・クリスマス会・創作活動など）									